

報道関係各位

第25回 新時代のエネルギーを考えるシンポジウム「どうなる？ モビリティ革命 ～CASE・MaaSは未来をどう変えるのか～」

2020年11月25日（水） 14:00～16:00 無料 オンライン配信 ※プログラムは2020年12月1日（火）までご視聴可能です。

第25回 新時代のエネルギーを考えるシンポジウム

「どうなる？モビリティ革命 ～CASE・MaaSは未来をどう変えるのか～」

2020年11月25日（水） 14:00～16:00 無料 オンライン配信

※プログラムは2020年12月1日（火）までご視聴可能です。



地球規模の問題から身近な話題まで、エネルギーを軸にした闊達な議論を毎年お届けしてきた「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」。25回目の節目を迎える今回は初めてのオンライン開催。テーマは「どうなる？モビリティ革命～CASE・MaaSは未来をどう変えるのか～」です。自動運転やIoT技術、EVと大変革する自動車業界、「移動手段」を統合する新サービスなど、「モビリティ」をめぐる国内外の最新状況を取材。コロナ禍の今、未来の暮らしとビジネスそして社会を大きく変える「モビリティ革命」の課題について議論を深め、未来への展望をお伝えしていきます。

<パネリスト(50音順)>

安達博治

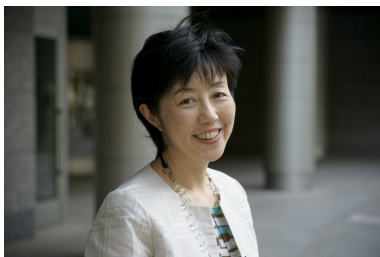
E N E O S株式会社 取締役 副社長執行役員 C D O 社長補佐（経営企画部・E S G推進部・I T戦略部・未来事業推進部・海外事業企画部）、I T戦略部、未来事業推進部管掌



1982年 早稲田大学理工学部大学院修士課程修了、日本石油入社。1988年 スタンフォード大学大学院修了。2008年 新日本石油株式会社 執行役員製造技術本部技術部長。2012年 常務執行役員水島製油所長。2015年 J Xホールディングス株式会社 取締役 常務執行役員。2020年 JXTGホールディングス株式会社 取締役 常務執行役員CDO。2020年6月より現職。

新井紀子

国立情報学研究所 社会共有知研究センター長



東京都出身。一橋大学法学部およびイリノイ大学卒業、イリノイ大学大学院数学科を経て、東京工業大学から博士（理学）を取得。専門は数理論理学。現在、国立情報学研究所社会共有知研究センター長、同 情報社会相関研究系教授。また、一般社団法人「教育のための科学研究所」代表理事・所長を務める。著書に『数学は言葉』（東京図書）、『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』『AI に負けない子どもを育てる』（東洋経済新報社）など。

植木健司

経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室長



1999年に通商産業省（現 経済産業省）に入省。東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了。特定複合観光施設区域整備推進本部（IR推進本部）事務局企画官などを経て、2019年7月より現職。CASE時代における自動車産業の構造変

化や、少子高齢化や人手不足などに伴う移動課題の解決に向けて、自動走行ビジネスの社会実装や、MaaSのビジネスモデルの確立などの取組を推進。

竹内純子

国際環境経済研究所 理事 主席研究員



国際環境経済研究所理事・主席研究員、U3innovations共同代表、筑波大学客員教授、東北大学特任教授。

1994年東京電力株式会社入社。主に環境部門を経験し、2012年独立。国連の気候変動枠組み条約締約国会議にも毎年参加し、環境・エネルギー政策の研究・提言を続ける傍ら、エネルギー転換の原動力となるスタートアップを支援するU3イノベーションズLLPを創設。同社共同代表のほか政府委員も多数務め、著書に「エネルギー産業の2050年 Utility3.0へのゲームチェンジ」（日本経済新聞出版社）、「誤解だらけの電力問題」（ウェッジ）など。

日高洋祐

MaaS Tech Japan 代表取締役



2005年JR東日本入社。ICTを活用したスマートフォンアプリの開発や公共交通連携プロジェクト、モビリティ戦略策定などの業務に従事。2014年、東京大学学際情報学府博士課程において、MaaSの社会実装に資する提言をまとめる。2018年11月MaaS Tech Japan創業。国内外のMaaSプレイヤーと積極的に交流し、日本国内での価値あるMaaSの実現を目指す。一般社団法人JCoMaaS理事。共著に『MaaS モビリティ革命の先にある全産業のゲームチェンジ』、『Beyond MaaS 日本から始まる新モビリティ革命-移動と都市の未来-』（共に日経BP社）。

<コーディネーター>

関口博之
NHK解説委員



NHK「おはよう日本」6時半台「おはBiz」キャスター。
一橋大学法学部卒、1979年NHK入局。経済部記者として官庁・日銀・流通などを担当後、解説委員に。「経済羅針盤」などのキャスターを歴任。専門は経済政策・企業戦略・エネルギー問題など。経営者インタビューも多数。

<視聴申込方法>

ホームページ <https://www.energysymposium.jp/>



FAX 03-3456-5627

ハガキ 〒105-0014 東京都港区芝3-15-14 ヒキタカ芝公園ビル6F
「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」参加登録事務局 宛

※ご視聴方法はお申込み方法にかかわらずメールにてご案内いたします。info@energysymposium.jp よりお送りしますので、ドメイン指定受信の設定をされている方は解除をお願いします。なお、応募多数の場合は先着順になりますのでご了承ください。

主催：「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」実行委員会
ENEOS株式会社、一般財団法人日本エネルギー経済研究所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、株式会社NHKエンタープライズ
後援：経済産業省

【お問い合わせ先】「新時代のエネルギーを考えるシンポジウム」参加登録事務局 TEL：03-3456-2255（平日 10-18時）

NEPのプレスリリース一覧

https://prtmes.jp/main/html/searchrlp/company_id/19688

